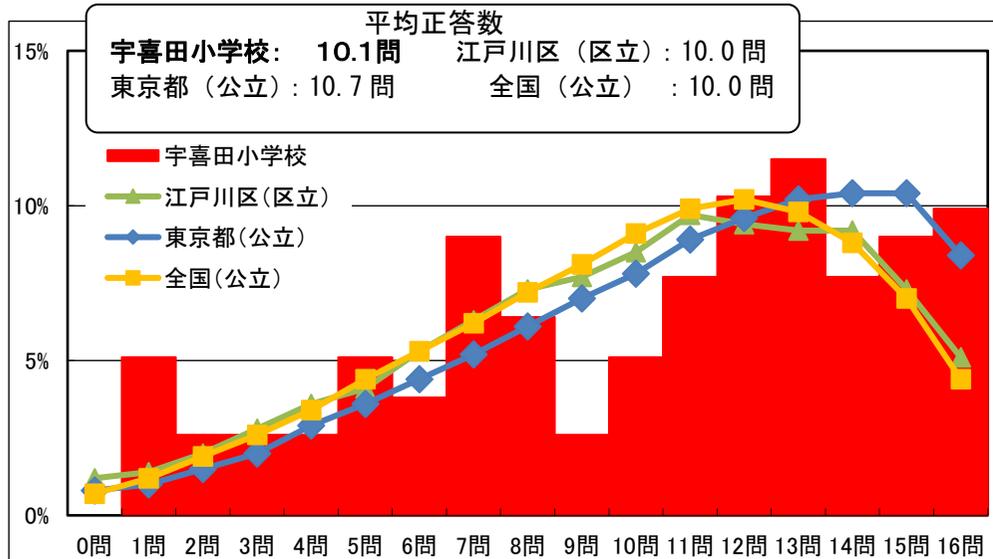


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 宇喜田小学校

## 正答数分布



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

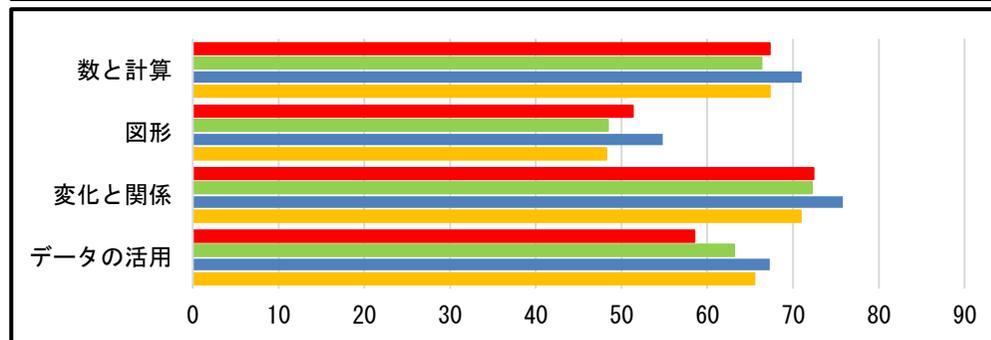
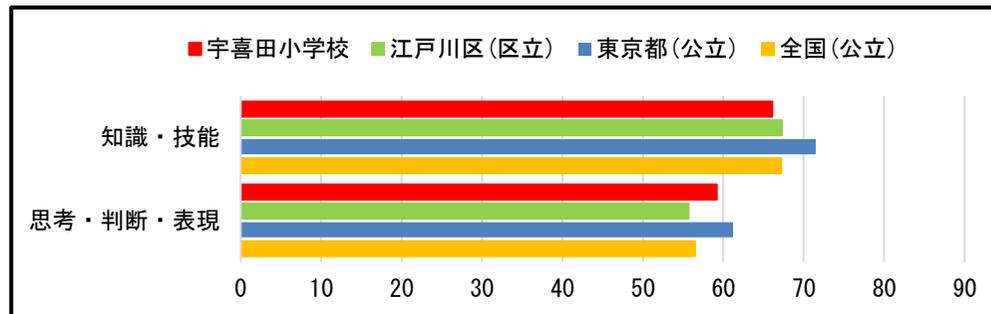
算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
宇喜田小学校	25.7	29.5	23.1	21.8
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

## 【平均正答率の差】

宇喜田小学校	63%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	4ポイント

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

- 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができてきた。
- 基本的な四則計算(割り算)をすることができている。
- 示された場面を解釈し、読み取る力や、目的に応じたデータの収集、表やグラフに表すこと、特徴や傾向を読み取ることが課題である。
- ☆数量の関係に着目し、計算の意味や仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりする授業を展開する。
- ☆データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、円グラフや帯グラフの特徴や使い方を理解する授業を展開する。